【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和7年2月14日(2025.2.14)

【公開番号】特開2024-96273(P2024-96273A)
【公開日】令和6年7月12日(2024.7.12)
【年通号数】公開公報(特許)2024-130
【出願番号】特願2024-73538(P2024-73538)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２０
Ａ６３Ｆ　7/02　３０４Ｄ
Ａ６３Ｆ　7/02　３１５Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月5日(2025.2.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
所定の発射操作に基づいて遊技領域へ遊技球を発射可能な発射手段と、
所定入球手段への遊技球の入球に基づいて特定判定を実行することが可能な特定判定手段と、
前記特定判定の結果に基づいて所定遊技状態よりも遊技者に有利な特別遊技状態に移行させることが可能な特別遊技状態移行手段と、
前記所定入球手段に遊技球が入球可能又は入球しやすい第１状態と、前記所定入球手段に遊技球が入球不可又は前記第１状態よりも入球しにくい第２状態とに切替可能な可変手段と、
前記可変手段を前記第１状態と前記第２状態に切り替える切替制御を実行する手段と、
を備え、
前記可変手段は、第１位置と第２位置に変位可能な可動体を備え、前記可動体が前記第２位置から前記第１位置に変位することにより前記第１状態となり、前記可動体が前記第１位置から前記第２位置に変位することにより前記第２状態となるように構成されており、
前記切替制御の態様として、第１制御態様と、前記第１制御態様よりも前記所定入球手段への遊技球の入球が生じやすい第２制御態様とを有しており、
前記可変手段は、前記可変手段の所定部から流入した遊技球が通過可能な所定の通路を前記可動体により形成可能となっており、
前記可変手段が前記第１状態から前記第２状態とされる場合に、前記所定の通路を通る遊技球が前記所定入球手段まで移動することなく前記可変手段より下流側の前記遊技領域に移動し得るように構成されており、
前記第２制御態様にて前記切替制御が実行される場合に、前記所定部から流入した遊技球が前記所定の通路を通った後、前記所定入球手段に入球し得るようになっており、
前記第１制御態様にて前記切替制御が実行される場合に、前記所定部から流入した遊技球が前記所定の通路を通った後、前記可変手段より下流側の前記遊技領域に移動し得るようになっていることを特徴とする遊技機。
【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明は、
所定の発射操作に基づいて遊技領域へ遊技球を発射可能な発射手段と、
所定入球手段への遊技球の入球に基づいて特定判定を実行することが可能な特定判定手段と、
前記特定判定の結果に基づいて所定遊技状態よりも遊技者に有利な特別遊技状態に移行させることが可能な特別遊技状態移行手段と、
前記所定入球手段に遊技球が入球可能又は入球しやすい第１状態と、前記所定入球手段に遊技球が入球不可又は前記第１状態よりも入球しにくい第２状態とに切替可能な可変手段と、
前記可変手段を前記第１状態と前記第２状態に切り替える切替制御を実行する手段と、
を備え、
前記可変手段は、第１位置と第２位置に変位可能な可動体を備え、前記可動体が前記第２位置から前記第１位置に変位することにより前記第１状態となり、前記可動体が前記第１位置から前記第２位置に変位することにより前記第２状態となるように構成されており、
前記切替制御の態様として、第１制御態様と、前記第１制御態様よりも前記所定入球手段への遊技球の入球が生じやすい第２制御態様とを有しており、
前記可変手段は、前記可変手段の所定部から流入した遊技球が通過可能な所定の通路を前記可動体により形成可能となっており、
前記可変手段が前記第１状態から前記第２状態とされる場合に、前記所定の通路を通る遊技球が前記所定入球手段まで移動することなく前記可変手段より下流側の前記遊技領域に移動し得るように構成されており、
前記第２制御態様にて前記切替制御が実行される場合に、前記所定部から流入した遊技球が前記所定の通路を通った後、前記所定入球手段に入球し得るようになっており、
前記第１制御態様にて前記切替制御が実行される場合に、前記所定部から流入した遊技球が前記所定の通路を通った後、前記可変手段より下流側の前記遊技領域に移動し得るようになっていることを特徴とする。